

# 令和3年度高田短期大学介護福祉研究センター事業報告

## I. 会議関係

### 1. 運営委員会

#### 1) 第1回 令和3年4月20日(火)

- 〔議事内容〕・運営委員会の開催日時  
・センター事業担当者の確認  
・新型コロナウイルス対策について  
・研究員の継続状況  
・前期センター会議及び介護福祉セミナー  
・定例研究会  
・高校生等見学バスツアー  
・地域の高齢者に対する介護福祉啓発活動  
・第1回作文コンクール「文集」について

#### 2) 第2回 令和3年5月19日(水)

- 〔議事内容〕・定例研究会  
・前期センター会議及び介護福祉セミナー  
・高校生等見学バスツアー  
・第2回介護作文コンクール(広報、後援団体)  
・地域の高齢者に対する介護福祉啓発活動  
・「ふれんどえいむ」の啓発

#### 3) 第3回 令和3年6月18日(金)

- 〔議事内容〕・第1回介護福祉セミナー  
・定例研究会  
・センター紀要「介護・福祉研究」第8号  
・高校生等見学バスツアー  
・第2回作文コンクール(ちらし要領発送、文集発送含む)

#### 4) 第4回 令和3年7月28日(水)

- 〔議事内容〕・高校生等見学バスツアー  
・センター紀要「介護・福祉研究」第8号  
・介護作文コンクール(審査、後援団体賞等)  
・定例研究会

#### 5) 第5回 令和3年8月21日(土)

- 〔議事内容〕・「介護・福祉研究」第8号の執筆者の決定  
・新規研究員の承認  
・高校生等見学バスツアー振り返りと課題  
・運営委員会の開催日時  
・第2回作文コンクール(審査、表彰式、副賞、参加賞等)

#### 6) 第6回 令和3年10月26日(火)

- 〔議事内容〕・介護作文コンクール(表彰式最終打ち合わせ、事業実施報告書)  
・第2回介護福祉セミナー  
・後期センター会議(資料作成担当)  
・定例研究会

#### 7) 第7回 令和3年12月1日(水)

- 〔議事内容〕・後期センター会議(最終確認)  
・第2回介護福祉セミナー(当日役割)  
・定例研究会(第48、49回)  
・センター紀要「介護・福祉研究」第8号  
・第2回作文コンクール表彰式振り返り

#### 8) 第8回 令和4年1月31日(月)

- 〔議事内容〕・第48回、第49回定例研究会の延期等について  
・次年度の介護福祉セミナーについて  
・「介護・福祉研究」第9号

#### 9) 第9回 令和4年2月18日(金)

- 〔議事内容〕・次年度定例研究会の年間計画  
・第3回作文コンクールの運営について  
・介護・福祉研究第8号の進行状況、発送作業確認  
・研究員の継続について

#### 10) 第10回 令和4年3月14日(月)

- 〔議事内容〕・次年度年間計画と各事業担当者  
・役割の引継ぎ  
・研究員の継続状況の確認

## 2. センター会議

### 1) 前期センター会議 令和3年5月28日(金) 17:00~17:30 参加者10名

於) 高田短期大学2号館カフェテリア

- ・ 令和2年度事業報告(案)
- ・ 令和3年度事業計画(案)
- ・ 新規研究員の紹介 久保 朝水(本学卒業生) 川北 葉月(本学卒業生)  
片岡 柚衣(本学卒業生) 清水 愛可(本学卒業生)  
西畑 里咲(本学卒業生) ライ スニタ(本学卒業生)

※5月末時点在籍研究員数:51名

### 2) 後期センター会議 令和3年12月23日(木) 18:00開催予定

於) 高田短期大学2号館カフェテリア

- ・ 令和3年度事業経過報告(案)
- ・ 令和4年度事業計画(案)
- ・ 令和4年度予算要求(案)
- ・ 新規研究員の紹介

植村 哲也(学識経験者)

令和3年10月13日第46回定例研究会にて辞令交付済

※12月時点在籍研究員数:52名



植村研究員辞令交付の様子

## II. 研究活動

### 1. 定例研究会

介護福祉研究センターでは、地域の福祉施設等の関係者や介護福祉関係で活動していただいている方々、卒業生を研究員に招き、2021年9月現在52名(内卒業生22名)の研究員が在籍しています。毎月一回の定例研究会を開催し各分野の情報交換を行い、地域に還元できるように学びあっています。

場所は、原則介護福祉研究センターまたは介護実習室で行っています。

#### 1) 第44回定例研究会 5月28日(金) 18:00~19:30 参加者 10名

・ テーマ「施設はどこまで住まいになりうるか」

・ 発表者: 世古口 正臣研究員

・ 内容: 高齢者の入居施設はどうあるべきか、在宅とそん色のない施設生活はどうあるべきかについてお話いただきました。世古口研究員が施設長を務める美里ヒルズは平成17年の開設以来、ユニットケアと向き合い、理想のケアを模索してきました。その取り組みからみえてきたケアのあり方について、従来型の施設と比較しながらご説明いただきました。美里ヒルズでは一人ひとりがどのような生活を送りたいのかを大切にされた支援を展開しており、従来型の施設でみられた「施設の定めたスケジュールに合わせて行動させる」ようなことはしていない、ということでした。入居者一人ひとりの生活リズムを尊重して生活環境を整えることで、認知症高齢者でも比較的穏やかに過ごしているとご紹介いただきました。この取り組みの結果、認知症高齢者が安心して暮らすことができる施設づくりが、ひいては職員の負担の軽減にもつながることがわかってきたとのこと。何よりも、



この取り組みが入居者と職員の信頼関係を深めることにつながってきたとご報告いただきました。

## 2) 第45回定例研究会 7月16日(金) 17:00~19:00 参加者 10名

- ・テーマ「『ケア(care)』の意味についての検討」
- ・発表者：千草 篤麿研究員

・内容：前介護福祉研究センター長で、現在は特別養護老人ホーム報徳園施設長の千草篤麿研究員から、上記のテーマで、現在取り組んでいる研究内容についてお話いただきました。近年、福祉分野でカタカナ言葉が濫用されるなかで、「ケア

(care)」という言葉が何を意味し、どのような目的で使用されてきたのか、福祉分野での利用実態や先行研究の調査からご説明いただきました。「ケア」という言葉は、戦後国内外でさまざまな研究者によって定義づけられてきました。それらを踏まえたうえで千草研究員からは、「弱者」「依存的な人」の「尊厳」「個別性」を重視し、それらの人の「ニーズ」「自己実現」「成長」を充足、援助する「行為」「関係性」「感情」「コミュニケーション」が「ケア」であるとともに、「ケア」においては「介護者の成長や自己実現」が目指されるものであると説明がありました。

その後のディスカッションではこの「ケア」という言葉を糸口に、千草研究員への質問とともに参加者間で様々な意見交換がおこなわれました。



## 3) 第46回定例研究会 10月13日(水) 17:00~18:30 参加者 10名

- ・テーマ「文書情報演習Ⅰ 介護福祉コース授業実践報告」
- ・発表者：川喜田 多佳子研究員、寺家 尚美研究員

・内容：文書情報演習の授業においてMicrosoft社が開発・販売している文章作成ソフトWordを正しく使うための基本操作を、どのような学びの目的と方法を設定して実践しているか、介護福祉コースをモデルに報告していただきました。

将来介護現場で働く学生が在学中にWordの操作能力を高めることは、就職後の事務能力の向上につながり、将来の業務の幅が広がるはずであるという仮説のもと、必要なスキルを身につけるために日本人学生と留学生それぞれに学習到達目標を設定し取り組んでいるということをお聞きしました。参加者からは日本人学生や留学生が作成する文章の特徴や傾向と、それによって問題となる事項について提起があり、議論や情報交換がおこなわれました。

情報教育を担当する教員ならではの苦労や悩みもお聞きしながら、一人ひとりの能力に応じた指導のあり方について考える機会となりました。日本人学生は将来の職場のITリーダーとして、留学生も日本語を正しく操ることができる職員として、将来に向けた能力の向上を大学教育でどのように実現していくのか共有することができました。



4) 第47回定例研究会 11月10日(水) 17:00~18:30 参加者 8名

・テーマ「自然体験保育の効果と高田短期大学の取り組み」

・発表者：武藤 敦士 研究員

・内容：武藤研究員から本学周辺の里山を学生の学びに活用していくための様々な取り組みと、ビオトープの整備を通して学生の主体的な学びと自発的な活動の促進、将来的に子どもたちの参加にもつなげていくための今後の課題や展望等、非常に興味深いお話を報告いただきました。「わからないものは怖い、それが何かわかれば怖くない」「日常ふれることでそのものを正しく理解できるようになる」「大人が楽しむ姿を見せることが子どもの興味関心につながる」という内容は、普段の私達の物事への取り組み方や視点についても考える機会となりました。学生を巻き込んで知的好奇心を活かす展望が、とても印象的でした。



5) 第48回定例研究会 令和4年1月26日予定 → 次年度に延期

・発表者：山下千晶 研究員

6) 第49回定例研究会 令和4年2月16日予定 → 次年度に延期

・発表者：北川なみ (卒業生：聖マッテヤ心豊苑勤務) ほか

### Ⅲ. 実施事業

#### 1. 介護福祉セミナー

##### 1) 第1回介護福祉セミナー

令和3年6月26日(土) 13:30~15:30

参加者19名(一般、介護福祉施設職員、研究員等)

テーマ「牛乳パックを使った服薬用手作り自助具」

講師：永田 穰 (一般社団法人三重県作業療法士会監事)



永田講師より説明～指が使えない人のリコーダーの工夫



受講生の様子

##### 2) 第2回介護福祉セミナー

令和3年12月19日(日) 13:30~15:30

参加者17名(一般、介護福祉施設職員、研究員等)

テーマ「カラーセラピー～生活の『いろどり』を見る」

講師：服部 優子 研究員



## 2. 白子公民館の高齢者と学生の交流サロン事業

今年度も、例年通り白子公民館と連携して事業を実施する計画をしておりましたが、新型コロナウイルス感染防止対策のため今年度の活動は断念しました。

## 3. 高校生等を対象とした介護啓発事業

1) 介護見学バスツアー 令和3年8月10日(火) 10:00~13:00

見学先：特別養護老人ホーム報徳園

参加者：高校生3名、保護者1名、日本語学校留学生8名、学生ボランティア5名、  
中川千代研究員、長谷川恭子研究員、川喜田多佳子研究員、寺家尚美研究員

内 容：施設概要紹介、施設利用者との交流、食形態の異なるメニュー試食体験



食形態の異なるメニュー試食体験



レクリエーション活動を通じたふれあい

## IV. 介護のみらいを考えようーあなたの思いやりを言葉にしてみようー作文コンクール

高田短期大学と本センターの主催事業である、第1回(令和2年度)介護のみらいを考えようーあなたの思いやりを言葉にしてみようー作文コンクール文集を今年度に入り作成し、県内各小中学校に配布しました。文集は、県内介護福祉施設等、各関係機関へも配布し広報しています。

同時に、第2回(令和3年度)作文コンクールの募集を県内小中学生向けに行い、638作品の応募がありました。

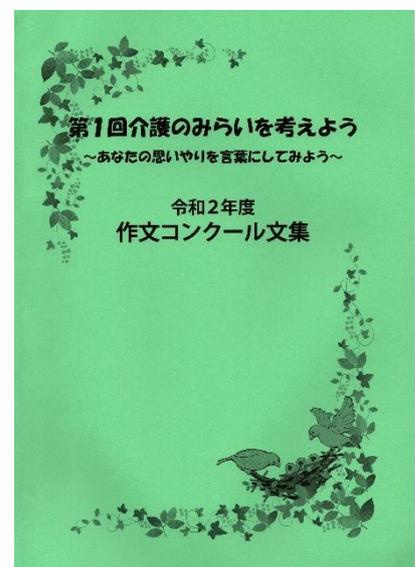
募集期間：令和3年7月20日(火)~9月17日(金)

対象者：三重県内の小学校に通う5・6年生および中学生

表彰式：令和3年10月30日(土) 13:30~14:30

※最優秀賞と優秀賞は、介護福祉研究センター紀要「高田短期大学介護・福祉研究」第8号に掲載予定です。

また、第2回作文コンクール文集も3月発行で作成しました。



第1回作文コンクール文集

## 第2回（令和3年度）審査結果

小学生の部 【応募数 196】

賞名	名前	学年	学校名	題名(テーマ)
最優秀賞	ひろもり 廣森 康祐	5	亀山市立白川小	介護のみらいの合言葉
優秀賞	むらた 村田 彩綾	6	松阪市立花岡小	介護の見方を見直す社会へ
	ちくま 千種 杏実	6	亀山市立亀山西小	誰にでも使いやすいUD
優良賞	おかむら 岡村 悠愛	6	亀山市立亀山西小	一しゅんの笑顔のために
	わかばやし 若林 虎乃雅	6	亀山市立井田川小	介護が必要な人について
	よしい 吉井 大河	5	亀山市立亀山南小	介護って何だろう
高田短期大学学長賞	にしむら 西村 心寧	6	亀山市立川崎小	私ができる介護
三重県社会福祉協議会 会長賞	はやし 林 優衣	5	亀山市立白川小	介護について
三重県介護福祉士会 会長賞	おちあい 落合 玲音	6	亀山市立亀山西小	僕のひいおばあちゃん
三重県老人福祉施設協 会会長賞	ひがしお 東尾 真依	6	亀山市立井田川小	思いやり
全国障害者問題研究会 三重支部支部長賞	あかの 赤野 真一朗	5	亀山市立亀山南小	ユニバーサルデザインとバリアフリー

中学生の部 【応募数 442】

賞名	名前	学年	学校名	題名(テーマ)
最優秀賞	おおしろ 大城 心音	3	松阪市立中部中	家族にとっての介護とは
優秀賞	おおにし 大西 永梨奈	3	松阪市立嬉野中	介護のかたちをつくる時
	やまなか 山中 麻夢	1	高田中	介護を一人で背負わないために
優良賞	なかはら 中原 未遥	1	三重大学教育学部 附属中	いつまでも旅行を楽しめるために
	かわさき 川崎 光結	2	松阪市立三雲中	介護のみらいを考える
	なかむら 中村 日南	2	津市立白山中	八十九歳のいもうと
高田短期大学学長賞	ソリア マリエル	1	亀山市立亀山中	私のお母さん
三重県社会福祉協議会 会長賞	せこ 世古 蓮太郎	1	高田中	介護の未来
三重県介護福祉士会 会長賞	まきぞえ 牧添 莉子	1	津市立西郊中	私とお父さんの願い
三重県老人福祉施設協 会会長賞	つづみ 堤 大和	3	亀山市立関中	小さな介護の積み重ね
全国障害者問題研究会 三重支部支部長賞	ひがし 東 潤	3	亀山市立関中	介護とはなんだろう

## 第2回介護作文コンクール表彰式

令和3年10月30日(土)13:30より表彰式を来賓出席の下、本学講堂にて実施し、優秀作品の朗読(4作品)も行いました。その様子は新聞(三重タイムズ)に掲載されました



入賞者集合写真



優秀作品朗読の様子



三重タイムズ記事 令和3年11月12日

## V. 研究成果の発行

### 1. 介護福祉研究センター紀要「高田短期大学介護・福祉研究」第8号(令和4年3月発行)

執筆希望書を編集委員会で協議し執筆者を決定しました。研究論文2編、調査報告1編、研究ノート2編、資料・文献1編に原稿依頼しました。

### 高田短期大学介護・福祉研究第8号執筆依頼一覧

\*掲載順は各種別順

種別	テ - マ	執筆者	頁
研究論文	母子生活支援施設を例に考える社会福祉実習指導における「生活問題の把握」の重要性	武藤敦士	12
研究論文	「価値交流学习」から見えてきた「対話」的な学び～多様な価値観への気づきの醸成～	中川千代	11
調査報告	高齢者施設を対象としたレクリエーション実態調査	長谷川恭子	8
研究ノート	介護現場と養成施設における実習指導と相互ニーズについての意識調査に関する一考察	服部優子	10
研究ノート	匿名を求めさせる社会 - 知る権利と、知られない権利の間での、障害者の権利 -	山本啓介	12
資料・文献	短歌に見る脳性麻痺者の生き方-無名歌人・藤本正則の作品紹介-	植村 哲也 千草 篤磨	10